

2026年度ハワイスタディツアー 参加学生募集要項

ハワイにおける土地・水・生態系の伝統体系（Ahupua‘a）を学ぶフィールドワーク

1. 概要

東京農工大学と東京外国語大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」において、文理協働的な研究を展開しています。このたび、両大学がハワイで実施している J-PEAKS ハワイ事業を基盤としたスタディツアーを実施します。

本スタディツアーは、ハワイ州オアフ島における土地・水・生態系の伝統体系である Ahupua‘a を手がかりとして、ハワイの文化と社会の関係、農業、食、先住民の権利、植民地主義、サステナビリティなどについて総合的に学ぶことを目的とします。参加学生は、ハワイ大学での講義、ワークショップ、農場や食品加工関連施設の訪問、現地学生との交流等を通じて、ハワイの食と農業をめぐる現代的課題について理解を深めます。

本スタディツアーは、単なる海外体験や文化体験ではなく、事前学習・現地調査・事後報告を含む、フィールドワーク型研修として実施します。

2. 説明会

・応募者は説明会への参加を必須とします（参加できない場合は個別にご相談ください）

日時：6月19日（金）11：50～12：30

場所：研究講義棟 108 教室・Zoom

事前登録フォーム：<https://forms.gle/vd8q1KexgZHtL46n9>

登録締切 6月17日（水）（*対面のみ飛び込み参加歓迎）

3. 実施時期

2026年9月2日（水）～9月8日（火）予定 ※訪問先との調整により決定

4. 実施場所

アメリカ合衆国ハワイ州オアフ島

5. 募集人数

10名程度

・定員を超過する場合は、書類選考を実施します。7/10頃までに結果を通知予定です。

6. 対象

学部生・大学院生

参加者には、単なる見学ではなく、事前に問いを持ち、現地での学びに参加し、帰国後に所定の報告をおこなうことが求められます。所定の全行程を完了した参加者には修了証が発行されます。

とくに、以下のような関心をもつ学生を歓迎します。

- ・食、農業、環境、サステナビリティ、文理融合研究に関心がある学生
- ・植民地主義、土地・水利用、先住民等の文化継承、地域社会に関心がある学生
- ・事前学習・説明会・事後報告のすべてに参加し、積極的に関わる意欲のある学生

7. 費用補助

- ・航空券の現物支給

※宿泊費、国内および現地交通費、食費、パスポート取得費、ESTA 申請費、海外旅行保険、個人的な支出等については、自己負担が発生します。

8. プログラム内容 ※現地機関との調整により変更の可能性あり

- ・ハワイ大学でのサステナビリティに関する講義・ワークショップ／文化学習センター訪問／学生との交流
- ・食品製造企業／タロイモ水田 (lo'i kalo) ／コミュニティに関わる現地施設・団体の訪問

9. 応募方法

応募希望者は、下記の応募フォーム（Google Form）より申し込むこと

内容：応募時点での研究テーマ／志望理由（1,000～1,200 字程度）等

応募締め切り：7月5日（日）

応募先：<https://forms.gle/rkRZwzM6n6viYjT9A>

10. 参考情報

スタディツアー参加者募集ページ：<https://www.tufs.ac.jp/trend/news/item-056287.html>

東京外国語大学 J-PEAKS 研究プロジェクト「タロイモ栽培と稲作から読み解くハワイの土地・水利用の歴史と現在」ウェブサイト：

<https://www.tufs.ac.jp/trend/projects/item-056261.html>

※ページ下方にて 2025 年度ハワイスタディツアー関連記事が確認できます

問い合わせ先：東京外国語大学 J-PEAKS 研究プロジェクト「タロイモ栽培と稲作から読み解くハワイの土地・水利用の歴史と現在」

[hawaiiproject\(at\)tufs.ac.jp](mailto:hawaiiproject@tufs.ac.jp) *(at)は@に置き換えてください。

共催：東京外国語大学 J-PEAKS 研究プロジェクト「タロイモ栽培と稲作から読み解くハワイの土地・水利用の歴史と現在」

東京外国語大学 大学の世界展開力強化事業（米国等）「太平洋を≪架橋≫するブリッジ・パーソン養成プログラム（TP-Bridge）」

東京外国語大学 学際研究共創センター（TReND）